

ななむら

第42号

発行：照来地区公民館

責任者：館長

☎ 92-1738

平成30年11月1日現在

世帯数 527世帯

人口 1,554人

(男729人、女825人)

照来の小さな文化祭「作品展示会」を開催しました！

11月17日(土)と11月18日(日)の2日間、照来地区公民館において、照来の小さな文化祭『作品展示会』を開催しました。30人の方から98点出展をいただきました。すばらしい作品ばかりで、感動いたしました。出展をいただきました皆さん、心からお礼申し上げます。

また、2日間で80人の方にご来場いただきました。色々と事業が重なっていたにも関わらずお越しいただきありがとうございました。

この2日間、沢山の方とお話しができ、大変良いご意見もいただけたことは、今後の公民館活動を推進していく上で大変良い機会だったと思います。今後ともご指導いただきますようよろしくお願いいたします。



「レコード鑑賞」コーナー

色んなジャンルから151枚のレコードを準備し、聴いていただきました。

コーヒーを飲みながら、また、話しをしながら懐かしい音楽を聴いておられました。



「喫茶」コーナー

多くの方に「喫茶」コーナーへ来ていただきました。皆さんが、楽しく話しをしながら、コーヒーやお茶、カフェオレを飲まれていて、このコーナーをやった良かったと思いました。



「1年後のあなたに届く手紙」コーナー

あまり関心がないだろうなと思いながら設置してみました。案の定1日目は誰も書かれませんでした。ところが2日目に入り、「書いて良いですか」と言われ、思わず「え！」と答えてしまいました。

郵便ポストを開けてみると2通入っていました。投函された方、来年の11月18日に届くようになりますので、楽しみにしてください。



ちょっと笑ってもらおうと思いやってみました

窓ガラスに中身のない額縁を設置してみました。作品名は「照来の風景」です。時間、角度によって照来の風景が変わっていく大変すばらしい作品です。

(笑)

「人をバカにしているのか」と言われるのではないかと思いましたが、意外と好評でした。



12月の事業予定

『寄せ植え教室』

- 日 時：12月9日（日）
午前9時30～午前11時
- 場 所：「照来地区公民館」
- 内 容：正月用の寄せ植え
- 受講料：2,000円（材料代）
- 持って来るもの
新聞紙、ナイロン風呂敷、手袋、ハサミ
- 申込み：11月30日（金）までに電話で
下記へ申し込みください。
- 申込先：照来地区公民館長 山本清孝
☎ 92-1738

新温泉町青少年育成町民大会

11月10日（土）平成30年度新温泉町青少年育成町民大会が浜坂北小学校体育館で開催されました。実践発表では、照来小学校の児童6人が「あいさつのできる照来っ子を目指して」と題して、気持ちの良いあいさつをするための様々な取組みについて元気に発表しました。



お知らせコーナー

◆照来の昔懐かしい写真展

昔の写真はありませんか？

照来の小さな文化祭「作品展示会」で、多くの方が昔の懐かしい写真を食い入るように見ていました。今から昔の懐かしい写真を集めて、来年の「作品展示会」で「照来の昔懐かしい写真展」を行いたいと考えています。皆様のご協力をお願いいたします。

「野菜づくり講座」を開催

10月24日（水）照来地区公民館におきまして、「野菜づくり講座」を開催しました。

今回もJAたじま温泉営農生活センターの宮部正信さんを講師に迎え、24名の方がタマネギとパレイシヨの育て方と野菜の病害について教えていただきました。

また、有害鳥獣対策についても触れていただきました。



照来の歴史④「照来の古文書が語る道の歴史」

①山陰道蒲生峠は、天正9年（1581年）秀吉軍が因幡侵攻のための進軍に利用し、慶応4年（1868年）には、山陰鎮撫使（ちんぶし）がこの峠を鳥取に越えた。この峠は平成8年には、文化庁の「歴史の道100選」に選ばれ、平成17年には「国の史跡」指定となった。江戸時代の主要街道の面影をしのぶことができる。

②但馬は、ほとんどが山地であり多くの村はその谷筋に開けている。明治時代までは、徒歩で旅行する者が多かったから、近距離で結ぶ山陰・峠道が良く整備され利用されていた。道は人と物と情報の交流の路であり、新たな文化を育むエネルギーの供給路である。

③照来から八田に越すのは、関尾峠（中辻？）、寸原峠（塩山）、宮脇峠越しであったし、山陰道に出るのには赤坂峠（桐岡）、和津峠（多子）を使用した。これらの懐かしいふるさとの峠路は、どんどんなくなり通れなくなったものが多い。自然は変化しないが道は変わっている。（とちのみ学園歴史講座資料より）

〔鎮撫使（ちんぶし）〕 各地の凶徒の逮捕や国司・郡司の巡察のため、国司の上に臨時に置かれた職